



学校法人志賀学園
久之浜こども園
令和6年9月30日

どこからともなく金木犀の香りが漂い、あぜ道の彼岸花が色鮮やかに咲き秋を感じる過ごしやすい季節になりました。

運動会は、心配された雨も子ども達の笑顔と元気な声に吹き飛ばされ、無事に終わることが出来ました。

運動会の感激が冷めやらぬ中、この園だよりを書いています。

今年の運動会は平日にもかかわらず、多くの皆様にご参集頂き、たくさんのご声援を頂きましたこと感謝申し上げます。

ちゅうりっぷ・たんぼぼ・もも組の皆さんは初めての運動会でしたが、親子で跳んだり跳ねたり…！楽しい時間を過ごせたでしょうか？

もも組さんのダンス『にこちゃん体操』は、「鬼の子にこちゃんシリーズ」の絵本から「やだやだやだもん」「やりたくない」といった2歳児特有の会話が出てくる歌を選びました。まさに自己主張の強いこの年齢『the2歳児』にぴったりといったダンスを楽しそうに踊る姿が見られました。

3歳児ばら組は、ダンスや大玉転がしを行いました。いつもと違う運動会の雰囲気緊張したり、お父さんお母さんに見守られていることで張り切ったりする姿が見られ良い経験となったと思います。

4歳児すみれ組のダンスでは、子ども自身が考えた振付が随所に見られ、また、自分で好きな色のポンポンを持つなど子どもの自主性を大切にしました。玉入れの赤白も自分たちが好きな色を選び、紅白に分かれたそうです。この時期、子どものやりたい思いを優先させ折り合いをつけていく経験が大事だと思います。

5歳児さくら組ではしばらく休んでいた友達に、「綱はこう持って、足はあっちを向けて！」と副園長先生に教わったやり方を忠実に教える姿が見られたり、リレーの走順を自分達で決めるなど作戦会議を何回も行った末の本番ただだけに、負けた白組のメンバーの中には悔し涙を流していた子もいるほど真剣に取り組んでいました。綱ひきは赤組が勝ち、リレーは白組が勝ち、同点でよかったとホッとしているところです。また、組体操のピラミッドは子ども同士がどの場所になるか話して決めたので、先生が指示しなくても自分の担当する場所がすぐにわかったそうです。このことからさくら組の子ども達のコミュニケーション能力が高いことに感心させられます。

運動会に向けたこのひと月は、運動会を意識した保育が展開されてきました。この経験が子ども達の次なる自信へと繋がっていくものと思われま